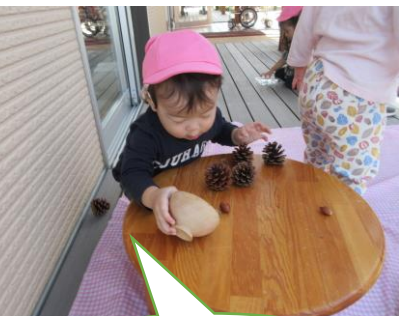


秋を感じてみよう！

作成日 R5.10・21
対象児 1歳児ばら組
作成者 山川真紀

○保育者と一緒に秋の自然を見つけたり、触れたりすることを楽しむ。



入るかな



転がっちゃった



いっぱい 入るかな



おはな
みつけた



まぜまぜ～



葉っぱのジュース
できましたよ

◎振り返り

せまっををるのを。でかい触先物ぎ桜ばます。か聞てに指然で、っ深でなみっ際、自りは葉かいの読歌実で、たでた秋た育をを、とれじ近い、き保本曲りこ触感最乾らいや絵のたるにを。かてまり、ど見す物いすりれし集た』鑑用自やいて。育はを下、具くやしをまらでびのり玩な氣にりいが組遊木だので天う作てなば、り読こだ日るそらい。りくをまるのえち見て。たたな本ま見を答こもじしっき絵や。もに、姿感ま歌大に器た時きてむをきを『う容しるやぜし然て歌』よきま出ぶ混染自っのりる空りにつををんな節くて、あ庭や葉音どく季つもり姿園とちやんよ、ぼもたるとこ落触ど地らつでみす達ると感心かましてりもい砂、て、が頃『少ししたどて、てけと日』ががて子じりいつこ、ろジ転立、感たづ見すにこー、見いのみ氣をごうろメでに思達ても然過よこいとともれに自然でるりのこそるど入とな庭きぐりぶちな子にこ近園でんく遊ごに、血る身もがどって、かりおなと中と『ぼれり豊た、に達日こはつ触たもしてりもりる月ま。れ感をっパどなじ今やた入五け拾り子く感。りしにとかをパしをすぐま器ぶ葉とで、涼々まんび容遊言ちすの折いと遊ててに落朋る夕節して。つつうのてく朝季しすて使使よ木手て

(健康な心と体、自然との関わり・生命保持、豊かな感性と表現)

